

すわ大昔フォーラム

諏訪市博物館・大昔調査会

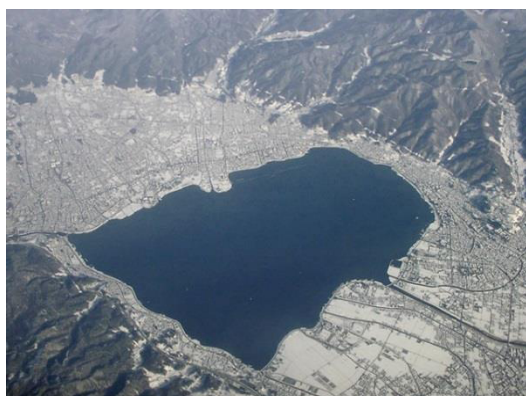
第10回
(予告)

2019年
12月14日(土)
PM 1:30～

◇ 日時：2019年12月14日(土) 13:30～15:00

◇ 会場：諏訪市博物館 学習室

◇ 演題：「諏訪湖と諏訪盆地の成り立ち」



諏訪の風景をかたちづくる最大の要素であり、私たちの暮らしに密接にかかわって来た諏訪湖。その諏訪湖はどのようにしてでき、自然科学的にはどのような特徴があるのでしょうか。そして謎多き「湖底・曽根遺跡」に縄文人が活動した時期の諏訪湖はどんな様子だったのでしょうか。

今回の講座では、最新の研究成果に基づいて、諏訪の歴史の舞台ともなった諏訪湖や諏訪盆地が、どのような過程を経て出来上がったのか、現在みられる景観の背景等について地学的な視点からお話いただきます。

◇ 講師：小口 徹 先生

(諏訪湖博物館専門研究員、下諏訪町宿場街道資料館)

1953年、諏訪市生まれ。地質学及び歴史地理学の研究者。信州大学教育学部卒業後、長野県小中学校教員として各校に勤務し、2016年下諏訪社中学校校長を最後に退職。その後諏訪市社会教育指導員として諏訪市公民館に勤務の後、「下諏訪町埋蔵文化財センター」開館に際し、準備段階から地質学専門家として黒曜石の展示構想に参画し、開館後は同センターに勤務。現在は「下諏訪町宿場街道資料館」に勤務。



■場 所 諏訪市博物館 学習室 (諏訪市中洲171-2 諏訪大社上社本宮前)

■参加料 博物館入館料(一般310円) ○申込不要